

AAF NEWS

VOL.21

2019
SPRING

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

NEWS

SITE REPORT

フィリムでブッダ・スクールの女子便所棟が工事中です

TOPICS

フィリムのブッダ・スクールにパソコンが寄贈されました

サステナブル・ブランド国際会議2019東京に参加しました

INFORMATION

AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



手を合わせあいさつするブッダ・スクールの子どもたち

NEWS

東京で「ヒマラヤの学校建設こどもたち」展 + ネパール・チャリティセールを開催しました

>次ページに詳細を掲載

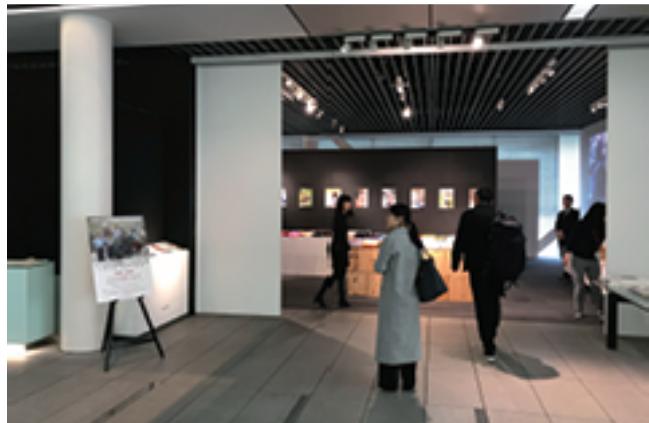
NEWS

東京で「ヒマラヤの学校建設とこどもたち」展 + ネパール・チャリティセールを開催しました

昨年11月27日(火)午前10時から午後8時まで、東京都江東区で「ヒマラヤの学校建設とこどもたち」展 + ネパール・チャリティセールを開催しました。会場は竹中工務店東京本店の1階にあるGallery A⁴(ギャラリー エー クワッド)。幅広い層を対象に、建築文化を発信しているギャラリーで、AAFも2005、2010、2015年と過去に3回展示会を開催しています。

2018年1月に大阪で開催したイベントと同様、「ヒマラヤの学校建設とこどもたち」展では、ヒマラヤ山麓の村・フィリムのブッダ・スクールの模型や、学校とそこで学ぶこどもたちの写真をパネル展示し、1999年から継続している学校建設の経緯や2015年に発生したネパール中部大地震後の復興の様子を約30分のビデオ上映で紹介。チャリティセールでは、ネパールの特産品である上質のパシュミナ・ストールやシルク・スカーフ、手編みの毛糸の帽子などを販売しました。また今回は昼休みと夕方に、竹中工務店1階のワークショップエリアでスライドによるAAFの活動報告も行いました。

関東ではまだまだ知名度の低いAAFですが、江東区観光協会が運営する公式観光情報サイト「江東おでかけ情報局」にもイベントの案内を掲載いただき、多くの来場者でにぎわいました。



ギャラリー入口



パネル展示

これをきっかけに関東地方でも積極的に活動していくことで、ネパールの状況をより多くの方々に知っていただき、支援の輪を広げていきたいと考えています。



チャリティセールの状況

SITE REPORT

フィリムでブッダ・スクールの女子便所棟が工事中です

フィリムでは本年2月に2015年のネパール中部大地震で被災した便所棟の再建工事に着手しました。地震の直後は一部壁が崩れてはいたものの建物としては使用できる状態であったため、寄宿舎の再建と増築を優先的に進めていました。その間、生徒数の増加に伴い便所棟も便器数が不足していましたので、新たに女子便所を独立して建て替える計画を立て、2017年には設計が完了。5棟目の寄宿舎竣工後の2018年9月に仮設寄宿舎を撤去し、その跡地に着工する予定でしたが、敷地形状の制約から一部造成工事を実施する必要があり、その調査と計画に予想以上に時間がかかってしまいました。着工後は円滑に工事を進め、5月中旬時点での外壁と屋根はほぼ工事が完了、雨季が本格化するまでには衛生設備工事も完了し、使用できるようになる予定です。この女子便所棟が完成することで、2016年1月より着手した震災復興工事はほぼ完了します。



外壁工事が完了(5月中旬)

TOPICS

フィリムのブッダ・スクールにパソコンが寄贈されました

昨年11月にイギリスのロータリークラブからブッダ・スクールにノートパソコン60台が寄贈されました。AAF NEWS vol.16でご紹介したように、フィリムでは2015年の年末にジャガットの水力発電所から送電されるようになり、ブッダ・スクールでもようやくある程度の容量の電気が使えるようになりました。その後職員室には教師用のパソコンとプリンターを設置していたのですが、今回の寄贈により生徒にもパソコンを用いた情報教育が可能となりました。さらにドイツの支援団体からもパソコン20台とプロジェクターの寄贈があり、スクリーンに映像を投影することもできるようになりました。

現在は職員用の部屋の一部に机を並べてパソコンの教育用に使用していますが、手狭なため、残念ながら限られた人数の生徒しか同時に学ぶことができません。そこで将来工事で計画していた科学実験棟を増床し、パソコンルームとしても使用できるように設計変更を行いました。今年2月には現地を視察して建設予定地の測量を実施、今年度中には建設工事に着手できるよう、整備を進めています。

インターネットの利用者率はネパール全体でまだ15%程度であり、ICTの普及はまだまだこれからの課題ですが、ネット環境が整い、パソコンの操作を習得することで、村から出たことがない生徒たちの視野がより世界に向けて広がっていくことが期待されます。



寄贈されたノートパソコン



プロジェクターで映像投影も可能

サステナブル・ブランド国際会議2019東京に参加しました

本年3月にヒルトン東京お台場で開かれた「サステナブル・ブランド国際会議2019東京」に、AAFが参加しました。サステナブル・ブランドはサステナビリティ(持続可能性)とブランド戦略の統合をテーマに2006年に米国カリフォルニア州で生まれ、国際会議は世界12か国13都市で開催されています。

今年度の世界共通テーマは、「グッドライフの再構築(リデザイン)」で、150名におよぶスピーカーが3月6日・7日の2日にわたり、いくつかのセッションに分かれ事例紹介や提言を行いました。AAFは副理事長の野田隆史が6日の「地域を持続可能にする。企業が国際支援で取り組むこと。」というセッションに参加、NPO法人ユメネパール代表理事のライ・シャラド氏、竹中工務店CSR推進部専門役の鈴木頼多氏、認定NPO法人ACE事務局長の白木朋子氏と4名で登壇し、ネパール・フィリムでの学校建設について紹介しました。ユメネパールはAAF同様、ネパールで多くの子どもたちに教育を提供したいという想いで活動しているNPO法人で、優秀な教師の少ない地方の学校にICTを駆使してカトマンズからオンライン授業を行うという試みに取り組んでいることを報告。ACEは児童労働の多いガーナやインドで村人たちに児童労働の危険性や教育の大切さに気づいてもらい、村全体で児童労働をなくしていく仕組みづくりの活動について紹介しました。また竹中工務店は企業の立場から、NPOを支援し連携していくことで、活動の持続化に寄与していることなど、持続可能な開発目標*への貢献について提言を行いました。いずれもNPOが政府、自治体や企業と連携しながらプロジェクトを進めていくことの重要性を再認識させられた国際会議でした。

*2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された17分野の目標。「だれひとり取り残さない」をスローガンに、「貧困や飢餓の根絶」「質の高い教育の実現」「女性の社会進出の促進」などの目標が設定されている。英語のSustainable Development Goalsを略してSDGsと呼ばれる。



司会者と4名のスピーカーによるセッションの様子

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィリムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、ポカラの女子学生寮の建設支援など、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

AAFの活動と実績

- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察
- 1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィリムを調査
- 2000.03 ボランティア団体AAF(Asian Architecture Friendship)を設立、ネパールのフィリムにて学校建設計画をスタート
- 2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィリムの学校が着工
- 2003.04 フィリムの学校 'Buddha Primary&Secondary School (ブッダ・スクール)' 竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう! 建築家のボランティア奮闘記(彰国社)」を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動—ヒマラヤの学校建設—」展を開催(ギャラリーエーグッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館)に出演
- 2007.05 日本建築学会賞(業績)受賞
- 2008.08 フィリムのブッダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出演
- 2009.05 フィリムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 ブッダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後—AAFのNGO活動展vol.2」を開催(ギャラリーエーグッド/東京)
- 2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィリムの学校プロジェクトを発表
- 2011.12 フィリムに4棟目の寄宿舎が竣工
- 2012.09 フィリムの3期工事(厨房棟)が着工
- 2013.02 厨房棟が竣工
- 2013.12 引き続き教員宿舎が着工
- 2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡—AAFのNGO活動展vol.3」を開催(ギャラリーエーグッド/東京)
- 2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得
- 2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、フィリムのブッダ・スクールが被災
寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける
- 2015.09 ブッダ・スクールの被災状況について現地調査を実施
- 2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手
- 2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞
- 2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2017.03 3棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2018.09 フィリムに5棟目の寄宿舎が竣工

INFORMATION

カレンダー・キャンペーンを終了しました

2018年11月1日からスタートしましたカレンダー・キャンペーンは2019年1月31日をもちまして終了いたしました。キャンペーンにお申込みいただきました寄付口総数は1,524口でした。ご協力いただきました皆様には、ここにあらためて感謝の意を表し、お礼申し上げます。

寄付金は全額、フィリムのブッダ・スクールの再建・修復等の建設費用に充当させていただきます。

ブッダ・スクールのキャンパスの整備をはじめ、途上国での学校等の建設支援のためにはさらなる資金が必要です。AAFでは今後も募金活動を継続してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

>>> 寄付の方法

ゆうちょ銀行払取扱票の通信欄に「寄付」とご記入の上、郵便振替にてお振込ください

AAFの賛助会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

賛助会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの賛助会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。賛助会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。賛助会員になつていただいた方には会報「AAF NEWS」をお送りさせていただきます。ぜひひと多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>> 入会方法

ゆうちょ銀行払取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>> 会費

一般賛助会員: 1口 5,000円(年額)

法人賛助会員: 1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座にお願いいたします

>>> 口座番号: 00910-0-64819

>>> 加入者名: AAF基金

※払取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

ゴルカからの自動車道がフィリム方面へ着々と延伸されているそうです。物流もよくなり便利になるのは良いことですが、フィリムまで延びてあの最初に出会った、風が麦を揺らす音だけの世界が壊れるのは残念。延びてほしいようなほしくないような。外国人の勝手な思いです… T